



### 皇居勤労奉仕 ～美しい日本の心を学んで参りました～

先月の12日から4日間、初めて念願の皇居勤労奉仕に行って参りました。(今年の5月の予定が出羽三山の鏡池掃除で不注意により怪我をしまい、一年遅れの参加)

皇居勤労奉仕の歴史は古く、昭和20年5月に空襲で焼失した宮殿の焼け跡を整理するため、終戦からわずか4ヶ月後の12月に、お隣の宮城県の有志60名が勤労奉仕を申し出たことが始まりだそうです。

それ以降、今日まで全国から有志による奉仕が続いており、累計で120万人を超えているそうです。

縁あって「日本を美しくする会」の活動に傾倒する中、「トイレ掃除に学び」ながら、「伊勢神宮」「出羽三山」などの清掃奉仕に加わると、ついには「皇居勤労奉仕」も制覇してみたいと思うようになって、昨年からチャンスを窺(うかが)っていました。

私が参加した今回は、平日の4日間連続して、皇居と赤坂御用地で除草と掃除などの庭園作業を行うものでした。

案内の庭師さんは、「普段、なかなか東宮御所や皇居の中に自由に入らせていただけないので、こういう機会に皆さんをご案内して、皇居に親しみを持って喜んでくださるのが大変うれしいです」とのことでした。

実際参加してみますと、勤労奉仕とは実は名目で、実際には皇室から国民へのおもてなしのようなものだと思います。総理大臣すらも入れないような場所も、勤労奉仕団は(“掃除大臣”として)入ることが出来ますので、常に陛下のオープンなお気持ちを感じながら至福の時を過ごさせていただきました。

途中、天皇陛下、皇后陛下・皇太子殿下のご会釈もいただきましたが、本当に上品で清楚な素晴らしいお三方でいらっしゃり、国の平和と国民の安寧(あんねい)を四六時中、祈られている方々のオーラに圧倒されました。

残念ながら勤労奉仕中の撮影は一切禁止されていますので、ご紹介出来る写真はない



二の丸庭園



二の丸雑木林



のですが、美しい日本・皇居を感じ、日本の皇室が一層身近になった体験でした。(なお、皇居内には各都道府県から寄せられた木々が植樹されています。もちろん、山形県の木は”さくらんぼ”でした。)

黒沼 範子